

18-11

2018年2月14日

視覚に障がいのある高校生向け「鉄道施設体験学習会」を開催します 総合研修訓練センターで駅の構造や設備の仕組みを学びます

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）は、視覚に障がいのある高校生を対象とした「鉄道施設体験学習会」を2018年2月28日（水）に実施いたします。

この体験学習会は、東京メトロと都立文京盲学校が連携し、視覚に障がいのある高校生が鉄道施設に実際に触れて、駅の構造などを学ぶことで、鉄道を安全に利用していただくことを目的に開催されるものです。

今回は、総合研修訓練センターにある模擬ホームを活用し、視覚に障がいのある高校生が、ホーム下構造物の位置関係を体感するとともに、ホーム上の非常停止ボタンが操作された状況を再現し、駅設備のしくみを理解することで、鉄道の安全利用を学びます。

東京メトロは社会貢献活動の一環として、これからも次世代育成の支援に積極的に取り組んでまいります。詳細は以下のとおりです。

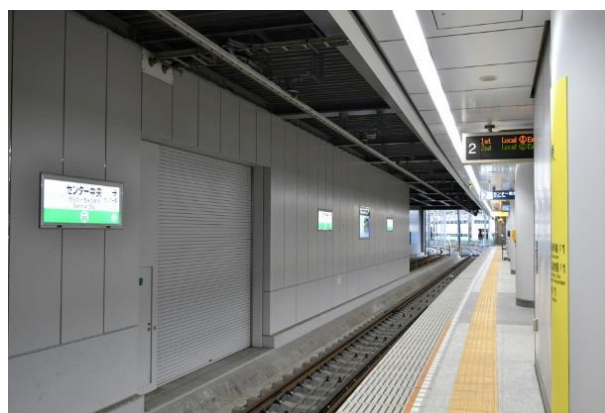
- 1 開催日 2018年2月28日（水） 9:45～12:00
- 2 開催場所 東京メトロ総合研修訓練センター（東京都江東区新木場4-4-15）
- 3 参加人数 都立文京盲学校 高等部 生徒 13名（予定）
- 4 学習内容

模擬ホームでの体験会

- ・ホーム下：ホーム下の構造物やレール等の位置関係について体感します。
- ・ホーム上：非常停止ボタンが操作された状況を再現し、駅設備のしくみを学びます。



総合研修訓練センター外観



模擬ホーム